



SAKURA

社協だより

第 45 号

令和 2 年 3 月 2 0 日 発行
桜 地 区 社 会 福 祉 協 議 会



地域防災への中学生への役割が高まっています。

最近、各地での記録的な集中豪雨による災害や東海地方での南海トラフ巨大地震の発生が危惧される中で、中学生の皆さんの地域防災活動への期待が高まっています。災害は時を選びません。災害時に頼りとする大人が仕事で外出している状況が大いに想定され、地元[※]に在在する中学生の皆さんの手助けが重要となります。

第11回桜地区防災フェスタ開催される

令和元年11月30日(土)、桜地区の防災フェスタが桜中学校に於いて開催されました。今回は、中学生の皆さんが防災のための各種訓練を体験する事を主題に、防災・減災の関係協力団体や自治会・住民の方々が参加し開催されました。

グラウンドでは、生徒の皆さんが四日市市消防西分署の署員と桜消防団団員の指導による放水訓練、消火器での初期消火、土嚢積みや倒壊家屋からの救助訓練を実施しました。武道場では、同署員の指導によるAED・心肺蘇生法、救急法(止血・骨折)を体験していただきました。また、体育館では、各種の協力団体からの展示やNPO法人みえ減災啓発支援ネットの指導により、生徒と自治会・住民が協力して"避難所の運営"(HUG)の訓練が行われました。生徒たちのフレッシュなアイデアと経験豊富なベテラン住民の意見で、様々な運営の仕方や問題点も浮き彫りになり、大変有意義な体験になりました。

◆福祉避難所(二次避難所)を知っていますか?

寝たきりの高齢者や重度の身体障害者の方々など、一般の避難所での生活が困難な方は、四日市市の要請で、次の社会福祉施設に二次避難する事が出来ます。

桜地区では、**身体障害者養護施設 エビノ園** 連絡先/059-326-5088 住所/四日市市智積町2896-1
特別養護老人ホーム 英水苑 連絡先/059-326-7511 住所/四日市市智積町34-1

また、近所にお住いの要援護者の方は、一人では身の安全を守ることが困難です。近所の皆さんが、進んで声をかけて支援する様にしましょう。

桜在宅介護支援センターからのお知らせ

市役所に代わって相談業務を行う公的な相談窓口です。
桜地区は、桜在宅介護支援センターが窓口です。

高齢者の生活や
介護の相談は

☎059-326-6618へ
お気軽にお電話ください!



桜地区の人口 14,768人

世帯数 5,978世帯

男 7,158人

女 7,610人

令和2年2月1日現在

さくらふれあいまつり ～ミニ運動会～

【地区社協・福祉部主催】

令和元年10月27日(日)さわやかな秋晴れの中、桜小学校体育館において、福祉部主催の"さくらふれあいまつり"が開催されました。桜ボランティア協会、サクラノ園、エビノ園、のびっこ、英水苑、桜グループホーム、ミニデイサービス、民生児童委員の方々と地区社協の合わせた総勢100名の参加がありました。

大玉ころがし、玉入れ、パン食い競争などのたくさんの競技により、大いに盛り上がりました。さらに、チェリー近藤さんのマジックショーや"紅葉" "パプリカ" "炭坑節"などの歌やダンスで参加者は心温まる時を過ごしました。この日のために桜地区の社会福祉活動を陰で支えて、たゆまぬ助力を惜しまない沢山の地域の方々がおられました。これから更に進む高齢化社会に向けての優しい眼差しを強く感じたミニ運動会でした。



“親子で楽しく紙飛行機を飛ばそう”

【地区社協・文化部主催】

令和元年12月1日(日)、午前9時より小春日の下、桜台小学校で文化部主催の「親子紙飛行機教室」が開催されました。吉原正英(文化部員)さんは紙飛行機の全日本紙飛行機選手権大会(自由設計部門)のチャンピオンで飛行機の制作は20年以上にわたり挑戦されている輝かしい成績と経歴の実力者です。体育館での紙飛行機の制作は指南役の吉原さんの懇切丁寧な指導で①飛行機はなぜ飛ぶか?②市販紙飛行機スカイブⅢ③ステレンパーパー無尾翼の2機種の作製に親子が奮闘、一般の参加も含め、文化部員の助勢もあって2時間ほどでステレンパーパー無尾翼、18機のスカイブⅢの『マイヒコウキ』が完成。小学校のグラウンド上空は雲もなく晴れ渡り、心配された木枯らしも吹かずにフライトには最適の条件!テンションの上った子供たちは吉原さんのアドバイスを守りながら一斉に大空に向かって初陣フライト。離陸失敗?もチャレンジを重ねるうちに上手になり、見守り隊だった助っ人の大人の方も童心に還って次第に熱が入り、約1時間の飛行体験に貴重な親子の触れ合いの場としての成果があり、参加者は親子で27名、関係者も含め総数で約50名、正午過ぎに終了しました。



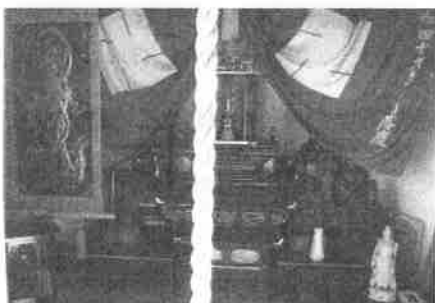
桜の歴史と文化を訪ねて

【地区社協・文化部主催】

令和元年11月17日（日）、晴天の中、約30名の方が集い、開催されました。今回は、桜郷土史研究会の方の1時間の座学の後、桜町をめぐるウォーキングに出かけました。「桜観音堂」、「老農加藤由兵衛翁の碑」、「智積御厨と多宝山智積寺」、「延福寺跡」、「椿岸神社」、「加賀姫と椿岸稲荷神社」、「引石」、「智積廃寺跡」の8か所を訪れました。説明の中にあつた「歴史は現在と過去のキャッチボール」という言葉がとても印象的でした。



普段暮らしている街並みを実際に歩きながら、今までの歴史と重ねあうことで、また違う桜を発見することができました。この他にも、桜にはたくさんの史跡があるとのこと。歴史ある街を誇りに思うとともに、また折を見て、先人たちの思いを感じに出かけたいと思いました。



“在宅医療について学ぶ”

【地区社協主催】

【NPO法人ボランティア協会共催】

令和2年1月19日（日）、午後1時30分より桜地区市民センター大会議室に於いて「福祉セミナー」を歯科医、坂井治先生を講師にお招きしてテーマ「地元桜に根差した歯科診療80年」親子二代にわたる歯科医院（桜町）の歩みを先生は時折、ユーモラスを交えた永年歯の治療に携わりながら歯の障害には①嚥下能力、②誤嚥性肺炎……。歯の健康を維持することで、認知症の予防にも繋がると話されました。他にも①歯磨きの仕方、②歯を食い縛るのは歯茎に良くない、③顎関節脱臼の治療の仕方（全て手話通訳あり）など、約60人（男性26人）の参加者は参考になったようで講演は3時過ぎに終わりました。



地区文芸

桜花台俳句愛好会

白シャツの手話忙しない発車ベル
 生かされて草抜く春の生活かな
 引き込みし堰あふれゆく春の川
 近場にて花見楽しむ老二人
 開港の翁の像や風光る
 森森といまはりの咲く迷路かな

小倉 久子
 織田恵美子
 勝又 正子
 神田 正子
 諸岡さとの
 山路 悦子

さくら俳句

指導 坂口 緑志

鉛筆のほどよき長さ大試験
 古民家の朽ちし茶室や石路の花
 蓮の骨刺さりし池や歳の暮
 筆立てに老眼鏡や日脚伸ぶ
 睦まじき間合ひ保ちて番鴨
 薄紅の小さき花びら寒桜
 喜憂こえ歳重ねたる春日和
 木戸に手を如何に重たき冬の月
 野地蔵の毛糸帽子も新しく

賀川 澄子
 西井 恵子
 松平瑠美子
 山路 悦子
 小倉 久子
 麻生 七子
 直江 由美
 伊藤千恵子
 勝又 正子

おめでとうございます

令和元年11月11日（月）、四日市文化会館第1ホールに於いて令和元年度、第51回四日市社会福祉大会が開催され、永年に亘り地域福祉向上にご尽力された桜地区では3名の方が表彰を授与されました。



市長表彰 水谷 照子さん 桜地区社会福祉協議会
 社会福祉協議会会長表彰 伊藤 隆夫さん 同上
 社会福祉協議会会長感謝 蒔田 憲三さん NPO法人 桜ボランティア協会



水谷 照子さん



伊藤 隆夫さん



蒔田 憲三さん

皆様の温かいお気持ちを社会福祉事業へ

『香典返し』に代えて一部を桜地区の福祉活動推進のためにご寄付いただければ
 “暮らしよい桜の町づくり”に活用させていただきます

編集後記

広報活動を通じて桜地区のNPO法人桜ボランティア協会、ふれあいいきいきサロン、民生・児童委員・・・大勢の方が社会福祉のボランティアに携わり地道な努力をされている姿に敬服しました。

避けては通れない「2025問題」も目前に迫り、桜地区も日本の縮図です。全ての住民が自身の問題として提起させて頂きました。

(広報部一同)

ありがとうございました

次の方々から、善意のご寄付をいただきました。
 (令和元年9月～令和2年2月)

●香典返し(敬称略)

智積町 伊藤 つい
 桜町 奥山 晋太郎
 智積町 西勝 寺
 桜町 伊藤 惠三
 智積町 伊藤 正勝
 智積町 芝田 自由市
 西阿倉川町 橋川 雅信

桜町 山中 茂
 桜町 坂井 喜久子
 桜町 川口 ふみ子

●ご厚志(一般)

梶原喜久子
 榎竹屋 治
 坂井 和男
 戸田 和男